



## 知っていますか？ごみの分別の意味

ごみを捨てる際、「燃やせるごみ」「容器包装プラスチック」などに分別をして意味があるのか疑問に思ったことはありませんか。皆さんのそんな疑問を少しでも解消し、納得してごみの分別に取り組んでもらえるように、ごみの分別をしないとどうなるのかについて紹介します。



## ごみを正しく分別をしないと起こること

### 津市リサイクルセンター

津市リサイクルセンターに搬入されたごみはそれぞれの方法で選別された後、ごみの種類ごとにリサイクルされています。

分別がきちんとできていないと、危険ごみなどが原因で火事になる恐れがあります。実際に津市リサイクルセンターでは、その他プラスチックごみに混入した危険ごみが原因で衣装ケースが燃えた事案(写真)がありました。人の手で選別を行っている工程もあり、大変危険です。

また、ごみがしっかり分別できていないと、本来リサイクルして資源として活用できるはずのものができなくなってしまいます。



### 西部クリーンセンター クリーンセンターおおたか

ごみが分別されずに西部クリーンセンターやクリーンセンターおおたかといった焼却施設に持ち込まれると、再生資源がリサイクルされずに焼却量が増え、施設への負担が大きくなってしまいます。

特に金属ごみが混ざってしまうと燃え切らずに残ってしまい、それが原因で焼却施設の機械が故障してしまう場合があります。修理には多くの時間や費用が掛かり、ごみ処理が滞ってしまいます。



燃え残った金属ごみ



燃え残った水管と鍋

### 正しくごみを分別すると・・・

- ごみ処理がスムーズになり、それにかかる費用が軽減できる
- 焼却量を減らすことができる
- ごみをリサイクルしやすくなる

例：容器包装プラスチック→プランターなどのプラスチック製品の材料  
金属→スチール缶、アルミ缶の材料

今後のごみの分別にご協力ください

問い合わせ 環境施設課 ☎237-0671 FAX237-0079